

令和元年度事業の実績について

1 農地中間管理等事業

(1) 農地中間管理事業

令和元年度の農地中間管理事業による転貸面積は、ほぼ前年度並みの 1,078ha となり、目標の 2,000ha に対して 54%の実績となった。

また、中間保有農地の管理、耕作放棄地の再生利用の実績はなかった。

さらに、基盤整備事業と一体となった集積の取組みについては、機構集積協力金を地元負担金に活用するなど、機構のメリットを生かした取組みを推進した結果、20 地区、92ha の集積につながった。

なお、広報活動では、新聞、ラジオ等に加え、土地持ち非農家に対する広報手段として農協や地域のイベント等を活用した取組みを実施した。

(単位:件, ha)

区 分		R1年度計画		R1年度実績		備 考
		件数	面積	件数	面積	
1 農地の貸借	借入	4,000	2,000	2,283	999	新規契約 900ha
	転貸	2,000	2,000	1,086	1,078	契約更新 1,100ha
2 中間保有農地の管理		-	44	-	-	既借入面積4,430haの1%
3 耕作放棄地の再生利用		-	250	-	-	復旧可能な耕作放棄地面積5,000haの5%
4 基盤整備との連携(県営)		47	235	20	92	事業実施地区数と区内での機構集積面積
" (簡易)		70	140	-	-	※R1年度実績は国調査未実施のため未記入

(2) 農地集積加速化事業

令和元年度に新たに指定された集積促進地区 20 地区、樹園地地区 4 地区を含めた 64 地区において地域の話し合いによる農地の集積・集約化に取り組んだ。

また、指定期間が終了した重点地区についても、継続して農地集積の受け皿となる組織づくりを支援した。

その結果、指定地区全体で新たに 16 の地域営農組織(法人)が設立され 407ha の農地が集積された。

区 分	R1年度 計画	R1年度 実績	備 考
農地集積専門員(人)	14	14	
支援対象地区数	64	64	176地区(H24～R1指定地区累計)
集積促進地区数	56	56	新規指定 20地区(指定期間3年) (H28～R1年度指定累計76地区)
樹園地地区数	8	8	新規指定 4地区(指定期間3年) (H28～R1年度指定累計12地区)
重点地区	0	0	新規指定なし H24～27年度指定累計88地区(指定期間4年)
集積面積(ha)	600	407	R1設立:16法人(H30:10法人)

(3) 農地中間管理機構の特例事業（農地売買等事業）

ア 農地売買等事業

農地の売買面積については、買入が145ha(計画比107%)、売渡144ha(計画比107%)となり、計画を上回る実績となった。

地域別では、阿蘇地域、球磨地域、熊本市、八代地域における買入面積が、全体の7割以上を占めた。

阿蘇地域においては、水稻を中心とした畜産との複合経営農家、球磨地域では、葉タバコ・畜産農家、熊本市では、園芸及び果樹農家、八代地域ではトマト・露地野菜農家の取得が多く、全体的に借入地を取得する案件も増加傾向にある。

また、地域農業の中核となる農地所有適格法人への売渡が増えてきており、当年度においては55件の実績となった。

イ 農作業受託促進事業

農作業受託促進事業（融資事業）については、2千万円（計画比50%）であった。

区 分	R1年度計画		R1年度実績		計画比(%)
農地売買等事業	買入	345 件	買入	416 件	121
		135 ha		145 ha	107
		1,325 百万円		1,001 百万円	76
	売渡	392 件	売渡	355 件	91
		135 ha		144 ha	107
		1,311 百万円		1,039 百万円	79
農作業受託促進事業	8 件	3 件	38		
	20 ha	10 ha	50		
	40 百万円	20 百万円	50		

2 新規就農支援事業

新規就農支援センターは、「農業経営基盤強化促進法」及び「農業基盤の強化の促進に関する基本方針(熊本県)」に基づく「青年農業者等育成センター」として知事から認定を受け、就農促進の拠点として、熊本県農業会議とともに就農希望者への就農相談等に取り組んだ。

(1) 新規就農支援センター機能強化事業

公社に就農相談員を3名、各地域に就農支援アドバイザーを11名配置し、就農希望者の相談に応じるとともに、センター主催等による就農・就業相談会を県内で4回開催した。また、「新・農業人フェア」を始め県外の相談会に7回出展し、就農支援活動を行うとともに、ハローワーク熊本での出張相談も22回行った。

この結果、就農相談件数は539件(計画比90%)となった。なお、相談者の就農支援に繋げて行くために、フォローアップ調査を46回行った。

就農支援資金については、既融資分の管理回収を行った。

(2) 新規就農支援助成事業

農業後継者育成基金の運用益を活用、青年農業者や学校農業クラブ、NPO法人等34件の活動を支援し、新規就農者の確保・育成に取り組んだ。

区 分	R1年度計画	R1年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業	(7)就農相談活動	
	㊦相談件数 600件	539件
	㊧就農相談員の設置 3名	3名
	㊨就農相談会の開催 13回	
	・熊本県内 3回	(熊本市、農大) 4回
	・県外(東京、大阪等) 10回	(東京、大阪、福岡) 7回 (ハローワーク出張相談) 22回
	㊩無料職業紹介 10件	2件
	㊪情報の収集・提供	
	・関係機関情報交換会 2回	4回
	・ウェブサイト更新 随時	更新回数 145回
	SNS更新 220回	
・教育機関への情報提供 随時	2回	
㊫親元就農Uターン者相談 随時	4回	

区 分	R 1 年度計画	R 1 年度実績
①新規就農支援 センター機能 強化事業	(イ)新規就農者育成支援活動 ア 就農支援アドバイザーの設置 11 名 イ 就農後のフォロー 40 回 ウ 認定研修機関等との連携 ・ 県就農支援機関協議会 随時 ・ 県立農業大学校 随時 ウ) バスツアーの開催 2 回 エ) 調査・研修等の活動 随時 オ) 就農支援資金の管理回収 ・ JA 事務委託、現地調査等 42 件	11 名 46 回 14 回 打合せ会議 4 回 集合研修 3 回 研修生指導等 5 回 東海大学等 5 校へ説明 2 回 2 回 29 件
②新規就農支援 助成事業 ※基金運用益 を活用	(ア) 県青年農業者クラブ連絡協議会 活動支援事業 1 組織 (イ) 青年農業者海外派遣研修等支援 事業 2 件 (ウ) 学校農業クラブ等地域課題解決 活動支援事業 5 校 (エ) 就農支援機関協議会助成事業 1 件 (オ) 就農準備研修機関等支援事業 NPO 法人等 4 件 (カ) 地域新規就農者支援組織等活動 支援事業 6 件 (キ) 地方クラブ課題解決活動支援事 業 11 件	1 組織 3 件 8 校 1 件 3 件 7 件 11 件

3 熊本県農業公園管理運営等事業

熊本県農業公園指定管理（4期目）の3年目となる令和元年度においては、農業公園の理念である県民への農業理解の促進と憩いの場の提供、農業情報の発信を行うため、「春と秋のバラまつり」、夏季の「水遊び広場」、「ペットボトルロケット教室」、年明けには「新春たこあげ大会」などの自主イベントを実施したほか、恒例となっているJA植木まつりや農業フェア、こうし市民まつり、サッカー大会やクロスカントリー大会等の芝生広場を活用した誘致イベントを実施した。

また、農業や食への理解を促進するためのカントリーパーク「食農塾」では、幼稚園・保育園を対象に甘藷、落花生、じゃがいも、スイートコーン、大根の収穫等の体験農園を実施するとともに、食育については親子、グループを対象とした石窯ピザづくり等体験、米粉を使用した料理教室を実施した。

体験農園については、113団体で7,566人（計画比89%）が参加、食の体験では、石窯ピザづくり等体験に38団体1,834人、米粉インストラクターによる料理教室を2回開催し23人で合計1,857人（計画比74%）の参加があった。

また、公社と連携協定を締結している㈱アスリートクラブ熊本と12月に「きずなCUP ロアッソ熊本サッカー大会」を実施し、また同じく協定を締結している合志市とは10月の「こうし市民まつり」、1月の「合志市民健康カントリーマラソン大会」を実施した。

しかし、1月末頃から日本で発生した新型コロナウイルスの影響により3月中に予定していたイベントがすべて中止となった。

この結果、令和元年度の総入園者数は約43万人（計画比86%）、有料入園者数約8万7千人（計画比99%）、無料入園者数約34万1千人（計画比83%）の実績となった。

このほか、県民参加の公園づくりを進める観点から農業公園バラサポーター62名の登録を行い、バラ園管理などに参加していただいた。

(1) 入園者実績

（単位：人数、%）

入園者	R1年度計画	R1年度実績	計画比
総入園者	500,000	427,659	86
有料入園者	88,000	86,962	99
無料入園者	412,000	340,697	83

(2) 体験農園実績

（単位：延人数、%）

作物	体験内容	R1年度計画	R1年度実績	計画比
体験農園		8,500(120団体)	7,566(113団体)	89
落花生	植付、生育観察、収穫	—	693(9団体)	—
甘藷	植付、生育観察、収穫	—	4,883(71団体)	—
じゃがいも	収穫	—	558(7団体)	—
スイートコーン	収穫	—	374(9団体)	—
大根	収穫	—	1,058(17団体)	—

(3) 食の体験実績

(単位：延人数、%)

項目	R1年度計画	R1年度実績	計画比
食の体験	2,500 (50 団体)	1,857 (38 団体)	74
石窯ピザづくり等体験	-	1,834 (38 団体)	-
食の名人等料理教室	-	23 (2 回)	-

(4) 主なイベントの開催実績

① 自主イベント

イベント名	開催日
第28回春のバラまつり	5月10日～26日
水遊び広場	7月20日～9月1日
秋野菜園芸講習会	8月18日
夏休み自由研究 (ペットボトルロケット教室)	8月25日
コンテナガーデン教室	9月29日
第26回秋のバラまつり	10月11日～22日
フラワーアレンジ教室	11月10日
門松づくり教室	12月22日
新春たこあげ大会	1月12日
接ぎ木教室	2月2日
体験農園 (落花生、甘藷、じゃがいも等)	4月1日～3月31日
石窯ピザづくり等体験	4月1日～3月31日
食の名人等料理教室	9月25日・2月19日

② 共催イベント

イベント名	開催日
春の物産館うまかもんフェア	5月11・12・18・19日
秋の物産館うまかもんフェア	10月13・14・19・20日
きずな CUP ロアッソ熊本サッカー大会	12月14日

③ 誘致イベント

イベント名	開催日
合志市カントリーパークリレーマラソン大会	4月13日
合志市子育てサポーターズカップサッカー大会	4月20日～21日
九州蚤の市	4月27日～28日
青空フェス	4月28日
KKT タグラグビーフェスタ	5月11日
第19回ハッピーマルシェ 第7回唐揚げ選手権	5月11日～12日
ボトルフラワー展示会	5月17日～21日
さつき盆栽展示会	5月17日～26日
やきとりフェスティバル	5月18日～19日
手作り&雑貨フェア	5月18日～19日
KKT ちびっこガーデンサッカー	6月8日

寒蘭新芽展示会	7月14日
寒蘭出芽展示会	7月21日
手作り&雑貨フェア	8月3日~4日
第2回たこ焼きグランプリ 第24回ハッピーマルシェ	9月28日~29日
こうし市民まつり	10月6日
ニクメンフェスタ秋の陣 ハッピーマルシェ	10月13日~14日
ボトルフラワー展示会	10月18日~21日
肥後骨董市	10月12・13・14・19・20日
くぬぎの丘マルシェ	10月26日~27日
県民共済カップ TKU キッズサッカー大会	11月2日
赤い羽根カップ TKU ジュニアサッカー大会	11月3日~4日
2019 くまもと農業フェア	11月9日~10日
ポテト&串もんフェスティバル 第25回ハッピーマルシェ	11月16日~17日
九州蚤の市	11月23日~24日
寒蘭花展示会	11月9・10・23・24日
アルクエスト謎解きウオーキング	11月30日~12月1日
熊本 YMCA チャリティーラン	12月8日
令和元年度二校合同駅伝大会	12月13日
熊本陸上競技協会・クロスカントリー大会 熊本県高等学校クロスカントリー大会	1月6日
合志市民健康カントリーマラソン大会	1月11日
第45回 JA 植木まつり	1月25日~2月24日
肥後骨董市	1月25・26日 2月1・2・8・9・11・ 15・16・22・23・24日
皐月盆栽新春展	1月24日~2月2日
盆栽展示会	2月10日~13日
第16回無人ヘリコプター安全飛行競技大会	3月3日

4 他団体からの委託事業

(1) 家畜人工授精用精液の取引仲介業務委託

家畜改良事業団が取り扱う家畜の精液について、家畜改良事業団と県下の農業団体との間で行われる売買の仲介業務を実施した。

(単位：本、千円、%)

項目	R1年度計画	R1年度実績	計画比
取扱本数	2,000	1,558	78
委託料	500	314	63

(2) 阿蘇草原復興支援事業専門アドバイザー設置委託業務（県委託事業）

熊本地震又は地震後の豪雨災害により被災した阿蘇地域の牧野において、阿蘇草原の維持・復興を図るため、牧道整備等のアドバイザー業務を実施した。

① 実績

令和元年度阿蘇草原復興支援事業実績表

(単位：円)

市町村名	牧野組合名	整備内容	舗装方式	工事費
阿蘇市	的石原野管理組合	L=190m、W=3m、 ア 15cm	鉄鋼スラグ (砕石)	1,446,500
産山村	笹鶴牧野組合	L=231.3m、W=2m、 ア 10cm	コンクリート	993,894
	産山村担い手組合	L=110m、W=2m、 ア 10cm	コンクリート	654,720
高森町	村山牧野組合	L=150m、W=4m、 ア 20cm	鉄鋼スラグ (砕石)	408,155
南阿蘇村	白川牧野組合 (東工区)	L=200.4m、W=2m、 ア 12cm	コンクリート	18,538,300
	白川牧野組合 (西工区)	L=305.3m、W=2m、 ア 12cm	コンクリート	



白川牧野組合(東工区)
(コンクリート舗装)



村山牧野組合
(鉄鋼スラグ舗装)

5 管理部門

公社業務の円滑な運営のため、役員会 7 回（会議開催 4 回、決議省略 3 回）、評議員会 3 回（定時 1 回、決議省略 2 回）を開催するとともに庶務経理等の業務を執行した。

（1）理事会

第 27 回 理事会 （令和元年 6 月 3 日）

第 1 号議案 平成 30 年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について

第 2 号議案 平成 30 年度貸借対照表、正味財産増減計算書、貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書並びに財産目録の承認について

第 3 号議案 令和元年度事業計画書及び収支予算書の変更について

第 4 号議案 評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について
報告事項 農地中間管理事業評価委員会において出された意見について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 7 名、出席監事数 3 名

第 28 回 理事会 （令和元年 6 月 18 日）

第 1 号議案 理事長の選定について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数 7 名、出席監事数 3 名

決議の省略の方法による理事会 （令和元年 8 月 22 日）

第 1 号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第 2 号議案 評議員会の決議事項について

※上記議案について理事 9 名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第 29 回 理事会 （令和元年 10 月 31 日）

第 1 号議案 諸規程の一部改正について

報告事項 令和元年度上半期における理事長の職務執行状況報告について

令和元年度事業の中間報告について

財務の状況について

※上記報告事項について報告された。

出席理事数 7 名、出席監事数 2 名

決議の省略の方法による理事会（令和2年3月9日）

第1号議案 決議の省略の方法による評議員会の開催について

第2号議案 評議員会の決議事項について

※上記議案について理事9名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

第30回 理事会（令和2年3月25日）

第1号議案 令和元年度収支予算書の変更について

第2号議案 令和2年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて

第3号議案 諸規程の一部改正について

第4号議案 理事長の選定について

報告事項 令和元年度下半期における理事長の職務執行状況報告について

令和元年度事業の実績見込みについて

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席理事数8名、出席監事数1名

決議の省略の方法による理事会（令和2年3月31日）

第1号議案 事務局長等の重要な職員の選任及び解任について

※上記議案について理事10名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

(2) 評議員会

第9回 評議員会（令和元年6月18日）

第1号議案 平成30年度貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について

第2号議案 役員を選任について

報告事項 平成30年度事業報告について

※上記議案について原案のとおり承認された。

出席評議員数8名

決議の省略の方法による評議員会（令和元年9月9日）

第1号議案 監事を選任について

※上記議案について評議員8名の全員同意で可決する旨の決議があったものとみなされた。

決議の省略の方法による評議員会（令和2年3月13日）

第1号議案 理事の選任について

※上記議案について評議員 8 名の全員同意で可決する旨
の決議があったものとみなされた。

(3) 監査 (令和元年 5 月 29 日)

平成 30 年度財務状況並びに業務執行状況について、公社監事(田上正
英・松本和久・小柳倫太郎)による監査が実施された。